

日本原子力学会 炉物理部会 第 57 回全体会議 議事録

日時： 2022 年 9月 8日（木） 12:05-12:55

場所：日本原子力学会 2022 年秋の大会 G 会場(茨木大学日立キャンパス E1 棟 32 番教室)

参加者: 50 名前後

【審議事項】

1. 令和 3 年度決算と令和 4 年度予算及び執行状況について

資料 57-01 を用いて、財務小委員会担当幹事より令和 3 年度決算における本部返納額に関する補正が報告された。また、令和 4 年度予算について報告され、承認された。

Q：今後同様の誤りを防止するため、セミナー支出分を支出項目に加えて記載することを検討されてはどうか？

A：表の備考に詳細説明を記載することで対応できていると考えているが、確かにセミナー支出を支出項目に明に記載するという考え方もある。但し、収入・支出の表は何らかの決まりがあるかもしれないので学会本部と相談する。

2. 令和 5 年度予算（案）について

資料 57-02 を用いて、財務小委員会担当幹事より令和 5 年度予算(案)が報告され、承認された。基本的に令和 4 年度予算を踏襲している。本件に関し、会場では以下の質疑・コメントがあった。

Q：旅費支給を支出項目に加えることに対し、学会本部からのコメントはあったか？

A：特になかった。

C：繰越金の使用について、国際学会企画等に必要な準備金等に用いることを想定していた。

C：令和 4 年度予算を踏襲して令和 5 年度予算を作成していることであるが、最近は学会全体として実績として発生しなかったものについては、可能な範囲で予算策定時に削減していこうという動きがある。無理に予算を削減する必要はないが炉物理部会においても、こういう意識で予算策定をするように心がけるべきである。

3. 令和 5 年春の年会での企画セッションについて

資料 57-03 を用いて、学術交流小委員会担当幹事より令和 5 年春の年会での企画セッションに関する検討状況が説明された。炉物理部会ロードマップの見直しや、マルチフィジックスに関する内容をテーマとして検討を進めており、メール等で意見を募集することが説

明された。

【報告事項】

4. 令和4年度炉物理部会賞受賞者紹介

令和4年度炉物理部会賞の紹介が行われた。本年度は奨励賞1件が授与された。

件名: エネルギーに関するスペクトル展開を用いた共鳴計算手法に関する研究

受賞者: 近藤 諒一 (国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構)

5. 第53回炉物理夏期セミナーについて

資料 57-05 を用いて、セミナー小委員会担当幹事より第53回炉物理夏期セミナーについて報告された。本セミナーは「測る」ことの楽しさ・重要性を学ぶ場として企画し、2022年8月4,5日に大阪大学吹田キャンパスにて実施した。次回の夏期セミナーは東京都市大学、早稲田大学、テプコシステムズが幹事として担当する予定である。

6. RPHA2022 の開催について

学術交流小委員会担当幹事(RPHA 担当)より、RPHA2022 について開催が見送られたことが報告された。RPHA は対面でのみ実施するという議論が行われている。RPHA2023 について情報があれば、学術交流小委員会担当幹事(RPHA 担当)より部会のメーリングリストで情報共有する。

7. ICNC2023 準備状況

資料 57-07 を用いて、JAEA 須山氏より ICNC2023 の準備状況が報告された。2023年10月1日から6日にかけて仙台国際センターで開催予定である。現在予定している主要日程として、400 words のアブストラクトの締め切りは2022年12月30日、フルペーパー投稿(1回目)の締め切りは2023年3月19日である。また、収支が赤字とならないためには、参加者募集と企業からの協賛金が重要となるため、是非協力をお願いしたい。

8. 炉物理専門研究会の案内

資料 57-08 を用いて、長岡技科大 竹澤先生より炉物理専門研究会の案内が紹介された。RPHA2022 が開催されなくなったこともふまえ、本研究会を2022年12月上旬にオンラインで開催することを検討している。

9. 炉物理ロードマップの見直しについて

北田部会長より炉物理ロードマップ見直しに関する説明があった。今年度はロードマップ見直しの年度にあたっており、今後見直しを進めるためのWG立ち上げを検討したいとのこと。部会員の方々にはメールベースで今後の進め方を相談したいと考えており、ご意

見・コメント等をお願いしたい。

【配布資料】

- 資料 57-01 令和 4 年度予算及び執行状況について
- 資料 57-02 令和 5 年度予算（案）について
- 資料 57-03 令和 5 年春の年会での企画セッションについて
- 資料 57-04 令和 4 年度炉物理部会賞受賞者紹介
- 資料 57-05 第 53 回炉物理夏期セミナーについて
- 資料 57-07 ICNC2023 準備状況
- 資料 57-08 炉物理専門研究会の案内

以上